



AMDA GPSP (Global Partnership for Sustainable Peace: 世界平和パートナーシップ) クアラルンプール事務所長 ◆  
岡山大学法学部(夜間主コース)卒/社会文化科学研究科修士課程修了

# 大政 朋子

O M A S A T o m o k o

岡山を拠点に、世界で活躍する国際医療ボランティア「AMDA」。大政さんは、その一員としてマレーシアの事務所に勤務している。岡山大の大学院生だった彼女が、世界に飛び立つきっかけになったのは、1通のメールだった。



▶東南アジア洪水緊急救援活動で物資を配布する大政さん  
=1月、クアラルンプール

- ▶おおまさ ともこ (42歳)
- 1972(昭和47)年 スイス生まれ
- 2008(平成20)年 岡山大学法学部(夜間主コース)卒
- 2011(平成23)年 岡山大学大学院社会文化科学研究科修士課程修了
- 2011(平成23)年 AMDAに就職 東北事業担当
- 2014(平成26)年 AMDA GPSP クアラルンプール事務所長

「内戦」といった言葉に、「遠くよその国の出

国際法の講義は、世界に目を向けるきっかけになりました。それまではテレビから聞こえてくる「紛争」に入りました。

以前は、保育士として児童養護施設で働いていました。虐待を受けた子どもの親権問題にジレンマを感じ、「法律の根本を学ばなければ子どもは守れない」と、退職して法学部

「日本だけでいいの?」  
「明日、被災地に行ってください。」  
当時、私は国際法を研究する大学院生。国際医療ボランティアとして世界で活躍するAMDAを修士論文のテーマにしており、インターシッピング生としてお世話になっていました。支援活動をした経験はありませんでしたが、翌朝には被災地に向けて出発。「自分には何かできるだろう」と、不安な気持ちもありました。

「1通のメール」  
「私にも何かお手伝いできることはありませんか?」  
東日本大震災が発生した2011年3月11日。居ても立っても居られず、AMDA本部にメールを送っていました。およそ1分後に来た返信には、こうありました。

「東北に戻りたい」  
東日本大震災の被災地では、現地医療機関からの協力要請や情報を収集するようになりました。わずか5日間で帰ることになりました。福島第一原発事故による放射性物質の拡散が懸念され、支援体制を縮小せざるを得なくなったのです。岡山に戻った時、「やり遂げられなかった」という気持ちでいっぱいでした。現地の状況を目の当たりにして、このまま引き下がることはできませんでした。岡山の家を引き払い、4月からAMDAの東北事業担当の職員として、一人で再び被災地に戻りました。

「東北に戻りたい」  
東北に戻ってからは、さまざまな支援を行いました。その一つとして、岩手、宮城、福島の3県がご当地グルメを振る舞うイベント「復興グルメF1大会」があります。支援活動を通して、「被災地同士をつなげたい」と思い、企画しました。

被災地をつなげる  
東北に戻ってからは、さまざまな支援を行いました。その一つとして、岩手、宮城、福島の3県がご当地グルメを振る舞うイベント「復興グルメF1大会」があります。支援活動を通して、「被災地同士をつなげたい」と思い、企画しました。

「若者に世界を見せる」  
昨年9月からマレーシアのGPSPクアラルンプール事務所配属されました。昨年末には、同国北部で深刻な洪水被害があり、現地のNGOと一緒に、清掃道具を物資提供したり、巡回診療をするなどしました。

同事務所では、国際社会で活躍する若者を育てる「グローバル人材育成プログラム」を来年度からスタートさせるため、準備をしています。対象は大学生で、自身で体験プランを考え、AMDAの海外支部や連携機関で活動。海外で活躍する日本人や、異なる人種の人々と出会うことで、若者に世界を見るチャンスを提供できればと思っています。

AMDAに送った1通のメールが、私の大きな転機になりました。小さなことでもアクションを起こさなければ、何も変わりません。若い人たちにも、その一歩を踏み出してもらいたいです。

「若者に世界を見せる」  
昨年9月からマレーシアのGPSPクアラルンプール事務所配属されました。昨年末には、同国北部で深刻な洪水被害があり、現地のNGOと一緒に、清掃道具を物資提供したり、巡回診療をするなどしました。

「若者に世界を見せる」  
昨年9月からマレーシアのGPSPクアラルンプール事務所配属されました。昨年末には、同国北部で深刻な洪水被害があり、現地のNGOと一緒に、清掃道具を物資提供したり、巡回診療をするなどしました。

AMDAに送った1通のメールが、私の大きな転機になりました。小さなことでもアクションを起こさなければ、何も変わりません。若い人たちにも、その一歩を踏み出してもらいたいです。

AMDAに送った1通のメールが、私の大きな転機になりました。小さなことでもアクションを起こさなければ、何も変わりません。若い人たちにも、その一歩を踏み出してもらいたいです。

AMDAに送った1通のメールが、私の大きな転機になりました。小さなことでもアクションを起こさなければ、何も変わりません。若い人たちにも、その一歩を踏み出してもらいたいです。

AMDAに送った1通のメールが、私の大きな転機になりました。小さなことでもアクションを起こさなければ、何も変わりません。若い人たちにも、その一歩を踏み出してもらいたいです。

AMDAに送った1通のメールが、私の大きな転機になりました。小さなことでもアクションを起こさなければ、何も変わりません。若い人たちにも、その一歩を踏み出してもらいたいです。



# 小さなアクションが 大きな一歩に

■ AMDA  
所在地：岡山市北区伊福町  
事業内容：緊急人道支援  
国際医療ボランティアとして、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。世界30カ国にある支部のネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して実施している。